

由布市庄内青少年健全育成市民会議

子どもたちの健やかな成長のため、庄内町では地域（関係諸団体）・家庭・学校の連携のもと、庄内青少年健全育成市民会議を構成しています。

すべての子どもたちが 笑顔で自信をもって成長していくために、まずは私たち一人ひとりが、青少年に愛情と関心をもち、家庭との連絡や学校との繋がりを強め、学校・家庭・地域の連携を図ることが大切です。大人として、子どもと関わる各種取り組みを進めることで青少年健全育成につなげていきたいと考えています。一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。



令和5年度に庄内青少年健全育成市民会議が行った活動等を紹介します。

～大人が変われば子どもも変わる～

あいさつ運動



11月17日、青少年の社会性を育むため、由布高校、小野屋駅前、庄内中学校、阿南小学校の4か所で早朝のあいさつ運動を実施しました。寒さの厳しい朝でしたが、関係団体のみなさん52名のご協力をいただき、さわやかなあいさつ運動が展開されました。

今年もコロナ禍ということでお互いにマスク越しのあいさつとなりましたが、マスク越しでも元気に「おはよう」のあいさつを掛け合うことで、児童・生徒たちの元気な笑顔を見ることができました。

「最近の子どもはあいさつしないなあ」なんて、言っている方はいませんか？あなたは自分から積極的にあいさつをしていますか？きっと大人から先にあいさつをして、そっぽを向く子なんていません。私たち大人から積極的にあいさつをしていきましょう

—大人が変われば子どもも変わる—

～健やかな成長を願って～

標語コンクール

今年度も「子どもたちの豊かな心と体を育み、健やかな成長」を促進するための標語を募集し、154名の方から238作品の応募をいただきました。

由布高校の先生方にもご協力を頂き、庄内青少年健全育成市民会議の役員で厳正に審査を行った結果、下記の5作品が優秀作品に選ばれました。優秀作品は、庄内地域の駅や学校など各施設に掲示し、青少年健全育成の啓発に役立てていきます。ご協力いただきました皆さん、たいへんありがとうございました。

【令和5年度 優秀作品】

あいさつは
心のドアを
ひらく窓

大声で
あかるい挨拶
地域の輪

いつだって
人の数だけ
愛がある

心から
伝える感謝
ありがとう

あいさつは
心をつなぐ
合言葉